

(別紙)

## 完全再開における留意事項

本校では次のことに留意し、教育活動を再開します。

### 1. 学校再開時に特に留意する感染症対策

- マスクの着用、手洗いや咳エチケットなどの徹底した感染症対策を行ってください。
- 毎朝の検温及び風邪症状の確認を徹底し、発熱等がみられる児童生徒等については、自宅で休養させてください。
- 登下校時に公共交通機関を利用する児童生徒等のマスク着用は特に徹底してください。
- スクールバス利用に当たっては、座席の間隔を十分にとる（2人掛け座席に1人）とともに、定期的な換気や消毒、児童生徒等のマスクの着用、会話を控えるなど、感染症対策を徹底します。
- 換気の悪い密閉空間にしないために、気候上可能な限り常時、2方向のそれぞれ1つ以上の窓を同時に開け、窓のない部屋では常時入り口を開けておいたり、換気扇を用いたりするなどして換気に努めます。あわせて、手洗いや咳エチケットなどの基本的な感染症対策の徹底を図ります。
- 教師と児童生徒等、児童生徒等同士の間での接触や、近距離での対面による会話等避けるように留意します。
- フェイスシールド着用や教壇前に透明フィルムを吊り下げる等、飛沫感染を防ぐための策を講じます。
- 物品の共用による感染を避けるため、ドアノブ、スイッチ、蛇口等、児童生徒等の触れる場所や、共用の教材、教具、情報機器等を、定期的に及び随時、消毒します。
- 教師及び児童生徒等並びに児童生徒等同士の間で可能な限り身体的距離を確保します。
- 最低1mの身体的距離を確保できるよう、机の配置等を工夫します。
- 児童生徒等同士が接近・接触する実習・実技等の活動や、児童生徒等が密集して長時間活動するグループ活動は、実施しないこととします。

### 2. 昼食時に留意する感染症対策

- 昼食時の感染症対策として、ホームルーム教室で昼食をとらせる場合は、机の移動等をさせず、自席で昼食をとらせることとします。
- 特別教室等も活用して、分散の上、昼食をとらせる等の工夫も行うようにします。
- 会話をしながら昼食をとることがないように指導していきます。

### 3. 部活動の再開における留意事項

- 活動日ごとに、生徒の健康観察を行い、体調不良の者がいないことを確認します。
- 咳、発熱等の風邪症状が見られたり、普段の体調と違うなど、何らかの体調不良がある場合は参加させません。
- 活動中や終了後に体調不良の者がいたら、保護者に連絡したうえで、安全に下校させます。
- 3つの感染リスク（密閉・密集・密接）を避ける対応や工夫を行います。
- 使用する用具は、消毒や生徒間で不用意に使い回しをしません。
- 活動の前後、休憩時間、活動場所等を移動する際等、こまめに手洗いを行います。
- 水分補給のためのボトルやタオル等は個人で用意し、複数で利用しないようにします。
- より短時間で効果的な活動を行います。